

WAT-910HX

OSD ユーザーマニュアル

Rev. 1.00

ワテック株式会社

2013/1/21

変更履歴

Rev. No.	日付	変更内容	備考
1.00	2013年1月21日		初版

【目次】

1.	OSD ユーザーマニュアルについて	4
2.	OSD操作方法	5
3.	メインメニュー表示 (SETUP)	8
3.1	露光設定 (EXPOSURE)	8
3.1.1	シャッタースピード (SHUTTER)	9
3.1.2	感度アップ (SENS UP)	10
3.1.3	ゲイン (AGC)	11
3.1.4	逆光補正 (BLC)	12
3.2	3次元ノイズリダクション (3DNR)	14
3.3	ワイドダイナミックレンジ (WDR)	15
3.4	画質調整 (ADJUST)	16
3.4.1	輪郭補正 (SHARPNESS)	16
3.4.2	γ (GAMMA)	17
3.4.3	セットアップレベル (SETUP-LEVEL)	17
3.5	デジタル画像処理 (FUNCTIONS)	18
3.5.1	デジタル効果 (EFFECT)	18
3.5.1.1	静止画 (FREEZE)	18
3.5.1.2	反転 (FLIP)	18
3.5.1.3	デジタルズーム (ZOOM)	19
3.5.1.4	ネガポジ反転 (NEG. IMAGE)	20
3.5.2	動体検出 (MOTION)	20
3.5.3	白点補正 (BPC)	22
3.6	工場出荷設定復元 (RESET)	23
3.7	設定終了 (EXIT)	23
4.	設定の保存	24
5.	OSD メニューツリー	25

1. OSD ユーザーマニュアルについて

本ユーザーマニュアルは、WAT-910HXの機能とオンスクリーンメニューによる設定方法について記したものです。

本ユーザーマニュアルを使用して、WAT-910HXの設定を変更した場合、実際の使用環境下で十分評価を行い、動作に問題がないことを確認してから、カメラの使用を開始してください。

本ユーザーマニュアルは、製品の仕様変更などで予告なく変更される場合があります。

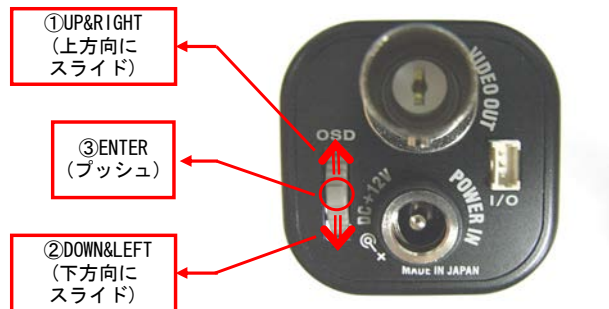
本ユーザーマニュアルの著作権はワテック株式会社に帰属します。権利者の許諾なく、内容の全部または一部を複製することは、禁止されております。

2. OSD操作方法

WAT-910HX の機能切り替えは、OSD (On Screen Display) の操作により行います。

OSD メニューの操作は、カメラ背面部のジョグによって行います。

ジョグは、UP&RIGHT/DOWN&LEFT/ENTER の3つのボタンから構成されています。



ジョグの操作部

①UP&RIGHT/②DOWN&LEFT キーを使用する時は、各方向にスライドさせるようにして操作します。

①UP&RIGHT キーには2種類の役割があり、各メニュー項目を選択する際のカーソル移動(上方向)と、設定切り替えや設定値の増加に使用します。

②DOWN&LEFT キーには2種類の役割があり、各メニュー項目を選択する際のカーソル移動(下方向)と、設定切り替えや設定値の減少に使用します。

③ENTER キーは主に、選択した項目や機能を実行・決定する時に使用します。

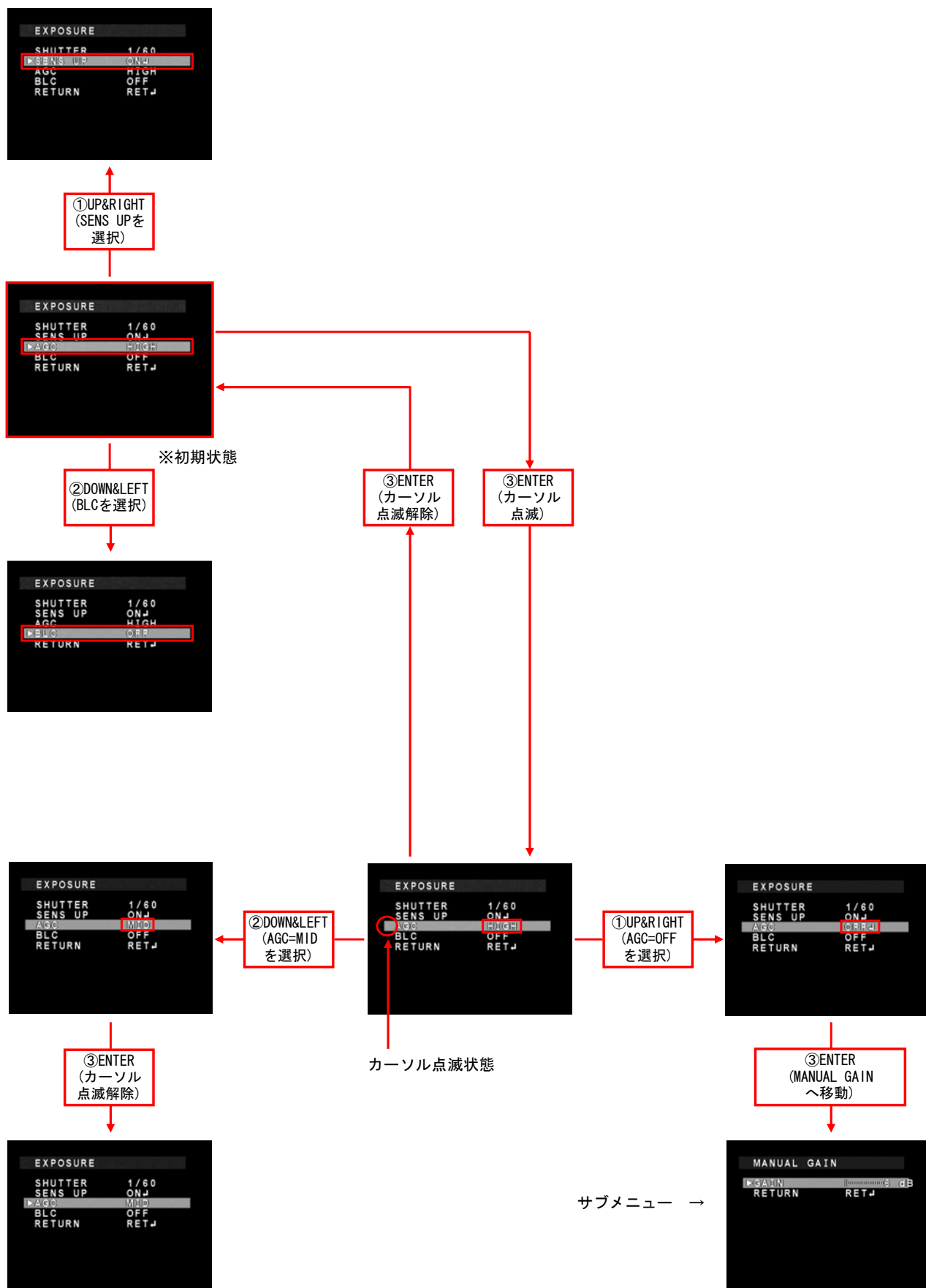
①UP&RIGHT/②DOWN&LEFT キーは、通常 UP/DOWN の操作が優先されますが、設定切り替え可能な項目にカーソルをあわせ、③ENTER キーを押すと、カーソルが点滅して RIGHT/LEFT の操作に切り替わります。

再度、③ENTER キーを押すことでカーソルの点滅が止まり、①UP&RIGHT/②DOWN&LEFT キーの操作が UP/DOWN に戻ります。

③ENTER キーでメニュー切り替えが可能な箇所には「⇄」が表示されます。

ジョグの基本操作は以下の操作例を参考にして下さい。

写真は、AGC (HIGH) 選択時を初期状態としたときの OSD操作の様子です。



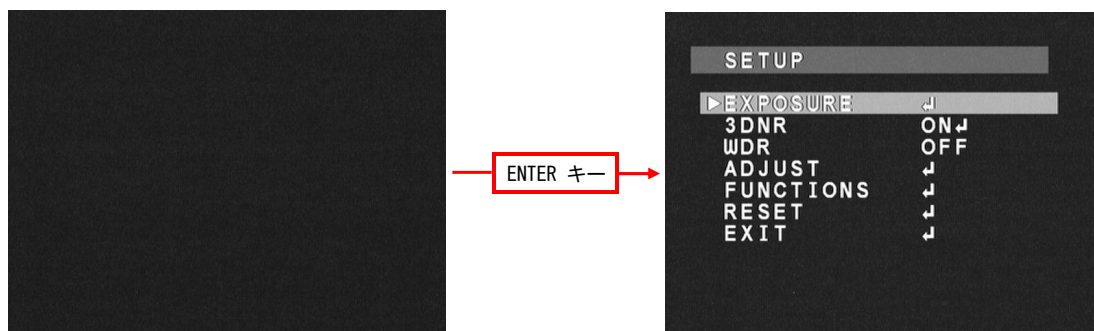
※ 以降の説明では、項目切り替え時に上移動で使用する ①UP&RIGHT キーを「UP キー」、下移動で使用する ②DOWN&LEFT キーを「DOWN キー」として記載します。

同様に、設定値を大きくするときに使用する ①UP&RIGHT キーを「RIGHT キー」、設定値を小さくするときに使用する ②DOWN&LEFT キーを「LEFT キー」とします。

また、実行・決定時に使用する ③ENTER キーを「ENTER キー」とします。

3. メインメニュー表示 (SETUP)

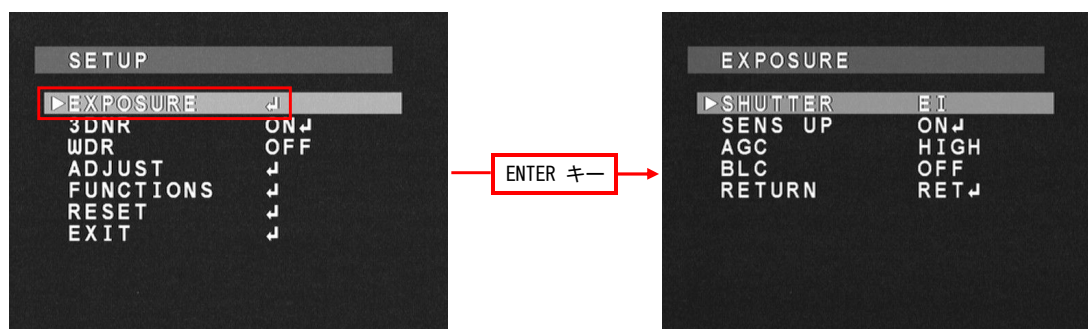
ENTER キーを押すと、SETUP メニューが表示されます。



3.1 露光設定 (EXPOSURE)

シャッターやゲイン、逆光補正の関連パラメータの調整をします。

EXPOSURE にカーソルをあわせ、ENTER キーを押すと、EXPOSURE メニューが表示されます。UP/DOWN キーでカーソルを上下に移動し、調整したい項目で LEFT/RIGHT キーを使用して調整を行ってください。



3.1.1 シャッタースピード (SHUTTER)

シャッタースピード (SHUTTER) を調整します。LEFT/RIGHTキーを使用してシャッタースピードを選択します。
デフォルトは EI です。

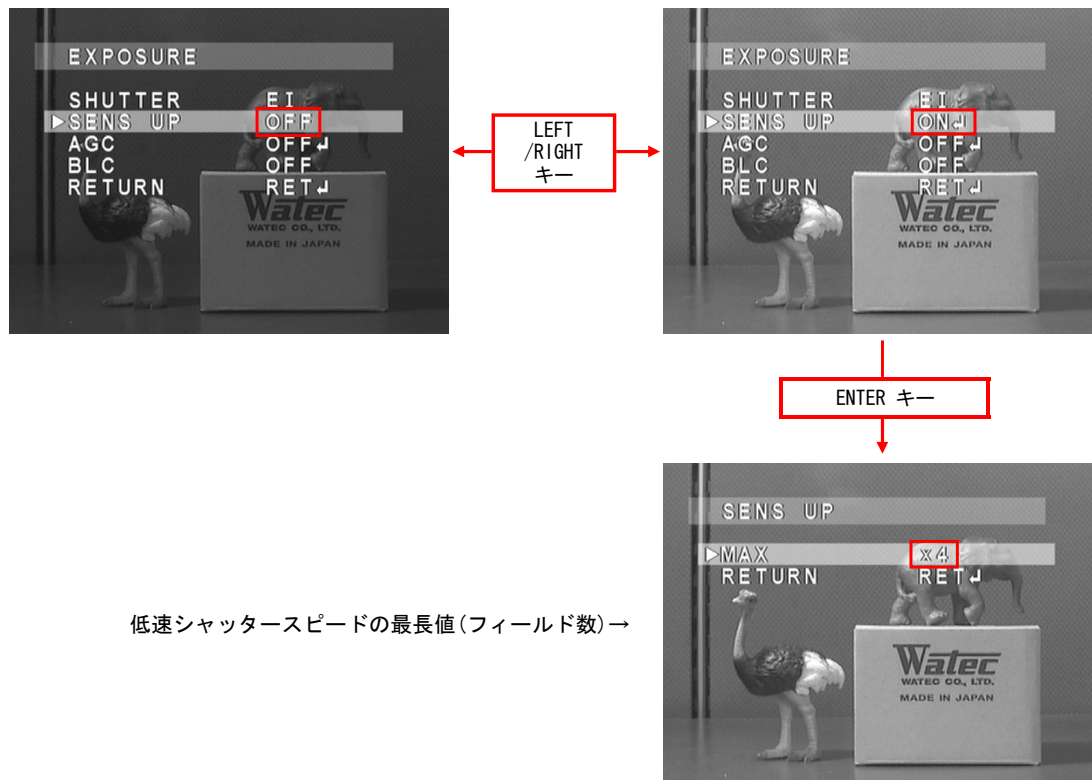
SHUTTER	シャッターモード	動作
x256	低速シャッター	選択したフィールド数の低速シャッター (固定シャッター) 動作。 露光時間は (選択フィールド数) × (EIA: 1/60秒, CCIR: 1/50秒) になります。
x128		
x64		
x32		
x16		
x8		
x4		
x2		
EI	電子アイリス	次頁に示すSENS UPのメニューで選択した低速シャッタースピードから、1/100000秒までのシャッタースピードを被写体の明るさに応じ変化させ、適正な露光状態を保つ機能です。
1/60 (1/50)	高速シャッター	選択した秒数の高速シャッター (固定シャッター) 動作。 FL (EIA: 1/100秒, CCIR: 1/120秒) はフリッカレスの略。 ※SHUTTER EIA: 1/60秒 (CCIR: 1/50秒) 選択時のみ、SENS UPのメニューで選択した低速シャッタースピードからSHUTTER EIA: 1/60秒 (CCIR: 1/50秒) までのシャッタースピードを被写体の明るさに応じ変化させ、適正な露光状態を保つことが可能です。
FL		
1/250		
1/500		
1/1000		
1/2000		
1/5000		
1/10000		
1/100000		

3.1.2 感度アップ(SENS UP)

SHUTTERメニューで、EI(電子アイリス)または EIA:1/60秒(CCIR:1/50秒)選択時、露光調整に低速シャッターを使用することができます。

LEFT/RIGHT キーを使用して、ON/OFF を選択します。ON選択時、ENTER キーを押すと、低速シャッター速度を設定するためのサブメニューが表示されます。LEFT/RIGHT キーを使用することで、SENS UP 機能使用時の最大フィールド数を設定できます。

デフォルトは x4 です。



低速シャッター速度の最長値(フィールド数)→

SHUTTER	SENS UP	動作
EI	OFF	EIA:1/60秒(CCIR:1/50秒)～1/100000秒の電子アイリスモード
	ON	低速シャッター速度最長値～1/100000秒までの低速シャッター併用の電子アイリスモード SENS UPは、x2/x4/x8/x16/x32/x64/x128/x256の中から設定できます。 LEFT/RIGHTキーを使用して、SENS UPの設定をします。
EIA:1/60 CCIR:1/50	OFF	EIA:1/60秒(CCIR:1/50秒)の固定シャッターモード
	ON	低速シャッター速度最長値～SHUTTER EIA:1/60秒(CCIR:1/50秒)までの低速シャッターのみの電子アイリスモード SENS UPは、x2/x4/x8/x16/x32/x64/x128/x256の中から設定できます。 LEFT/RIGHTキーを使用して、SENS UPの設定をします。
(その他)	OFF	SHUTTER メニューで選択された値の固定シャッターモード

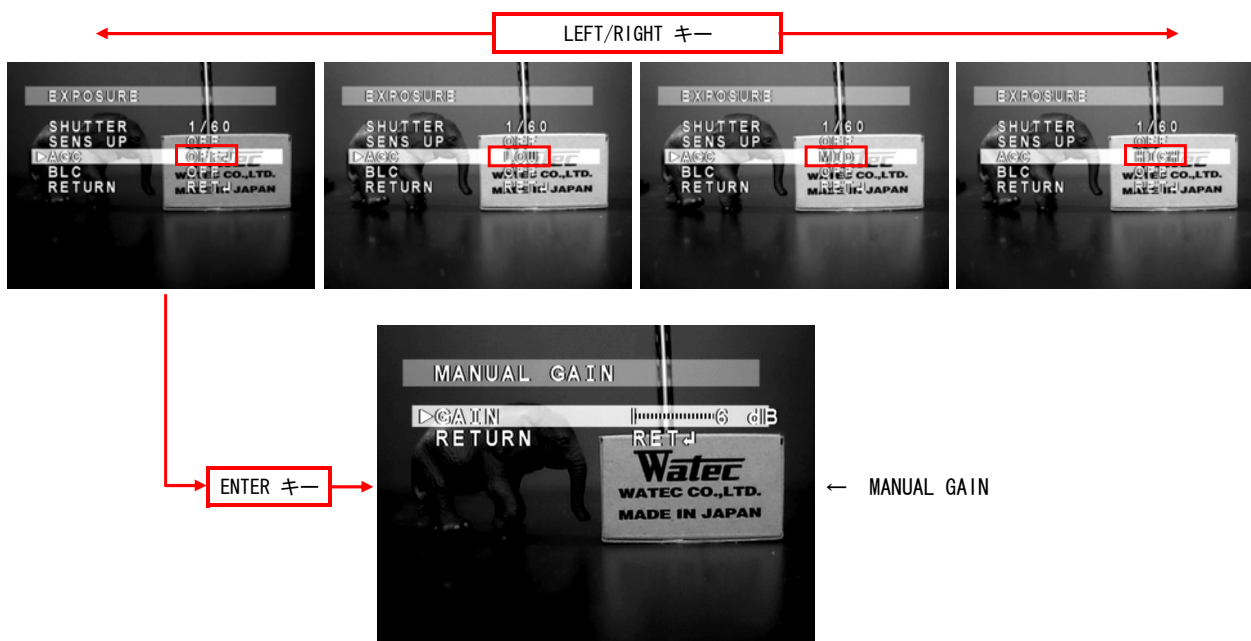
3.1.3 ゲイン (AGC)

GAINの設定をします。

LEFT/RIGHTキーを使用してAGC機能を設定します。OFF選択時、ENTERキーを押すと、MANUAL GAINサブメニューが表示されます。

デフォルトは HIGH です。OFF選択時の GAIN のデフォルトは 6dB です。

AGC	(SUB MENU)	動作
OFF	GAIN	(固定ゲイン) 約6～41dBの範囲で任意のゲインに固定します。 LEFT/RIGHTキーを使用して、ゲインの選択をします。
	RETURN	LEFT/RIGHTキーを使用して、RET/END を選択します。RET を選択して ENTERキーを押すと、EXPOSURE メニューに戻ります。END を選択して ENTERキーを押すと、SETUP を終了します。
LOW	—	(ゲイン範囲) 約6 ～ 30dB
MID	—	(ゲイン範囲) 約6 ～ 34.5dB
HIGH	—	(ゲイン範囲) 約6 ～ 41dB



3.1.4 逆光補正(BLC)

バックライトモードを選択します。通常のバックライト機能(BLC)とハイライトサブレスバックライト機能(HSBLC)の選択が可能です。LEFT/RIGHTキーを使用して OFF/BLC/HSBLC を選択します。

BLC/HSBLC 選択時、ENTERキーを押すと、詳細設定のためのサブメニューが表示されます。

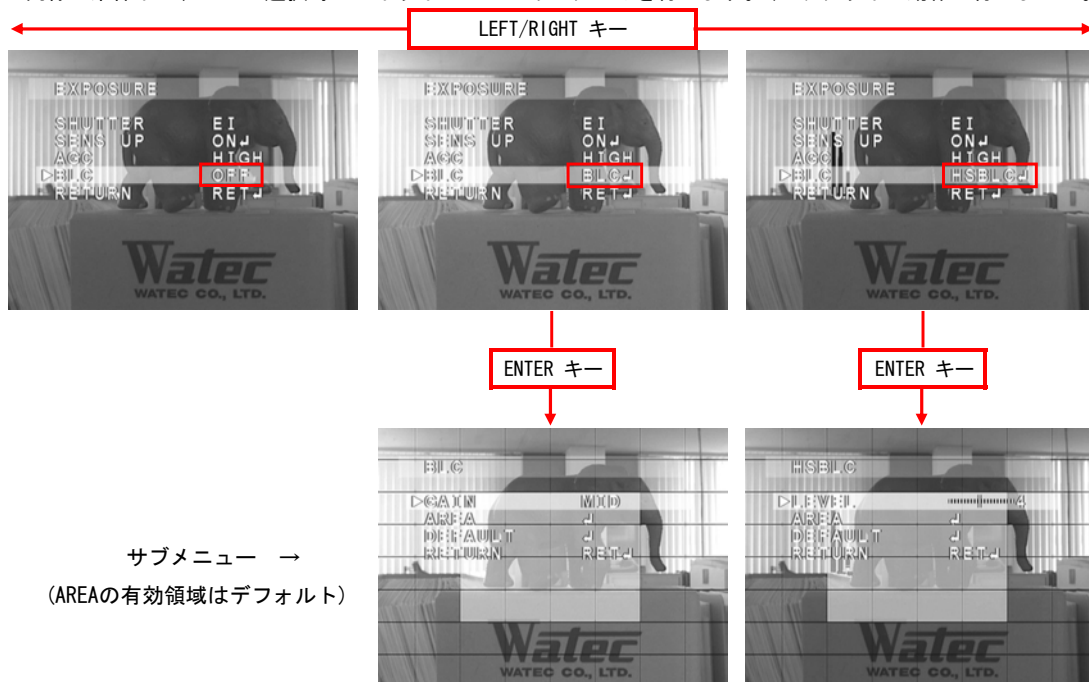
デフォルトは OFF です。BLC 選択時の GAIN のデフォルトは MID 、

HSBLC 選択時の LEVEL のデフォルトは 4 です。BLC/HSBLC 選択時の AREA のデフォルトについては、下の図の通りです。

※SHUTTER が固定シャッターかつ、SENS UP 機能とAGC 機能が共に OFF の設定では、

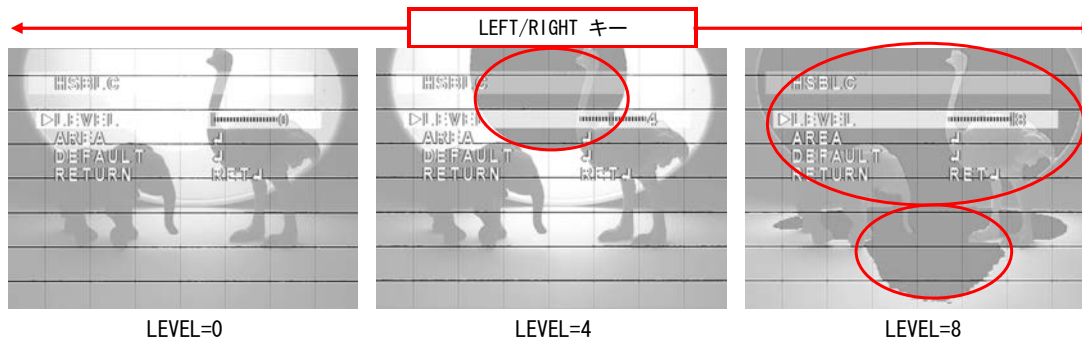
BLC の設定は無効となります。(バックライト動作は行いません。)

同様の条件下で、HSBLC 選択時はハイライトのマスキングのみを行います。(バックライト動作は行いません。)

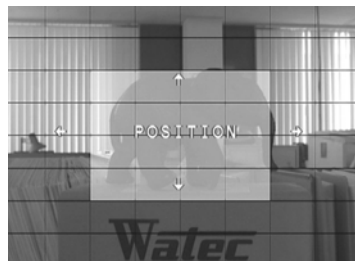


BLC	(SUB MENU)	動作
OFF	—	バックライト機能OFF
BLC	GAIN	バックライトの効き具合を設定します。 GAIN は、LOW(弱め)/MID(中間)/HIGH(強め)の中から設定できます。 LEFT/RIGHTキーを使用して、GAIN の設定をします。
	AREA	ENTERキーを押すと、エリア設定画面を呼び出します(※2)。
	DEFAULT	ENTERキーを押すと、工場出荷状態に戻ります。 工場出荷状態に戻ると、SUB MENU で設定した GAIN/AREA が初期値に戻ります。
	RETURN	LEFT/RIGHTキーを使用して、RET/END を選択します。RET を選択してENTERキーを押すと、EXPOSURE メニューに戻ります。END を選択してENTERキーを押すと、SETUP を終了します。
HSBLC	LEVEL	塗りつぶすハイライトの階調を設定します(※1)。レベルは、0(ハイライト部高)～8(ハイライト部低)の範囲で設定します。 LEFT/RIGHTキーを使用して、レベル を設定します。
	AREA	ENTERキーを押すと、エリア設定画面を呼び出します(※2)。
	DEFAULT	ENTERキーを押すと、工場出荷状態に戻ります。 工場出荷状態に戻ると、SUB MENU で設定した LEVEL/AREA が初期値に戻ります。
	RETURN	LEFT/RIGHTキーを使用して、RET/END を選択します。RET を選択してENTERキーを押すと、EXPOSURE メニューに戻ります。END を選択してENTERキーを押すと、SETUP を終了します。

(※1) LEVELの値によるHSBLC効き具合の違い



(※2) BLC/HSBLCエリア設定方法



ENTER キー



ENTER キー



RETを選択してENTERキーを
押すと、BLC/HSBLCメニューに戻る

(1) POSITION設定画面

バックライト/ハイライトサブレスバックライト機能の
有効領域(左上角位置)を設定します。

UP&RIGHT/DOWN&LEFT キーを使用して水平
方向のPOSITIONを設定します。ENTER キーを
押すと垂直方向のPOSITION設定へと切り替わり、
水平方向の時と同様の方法でPOSITIONを設定でき
ます。POSITION選択後、ENTER キーを押すと
SIZE設定画面に切り替わります。

AGAINを選択してENTERキーを
押すと、POSITION設定画面に戻る

(2) SIZE設定画面

バックライト/ハイライトサブレスバックライト機能の
有効領域(画面上の大きさ)を設定します。

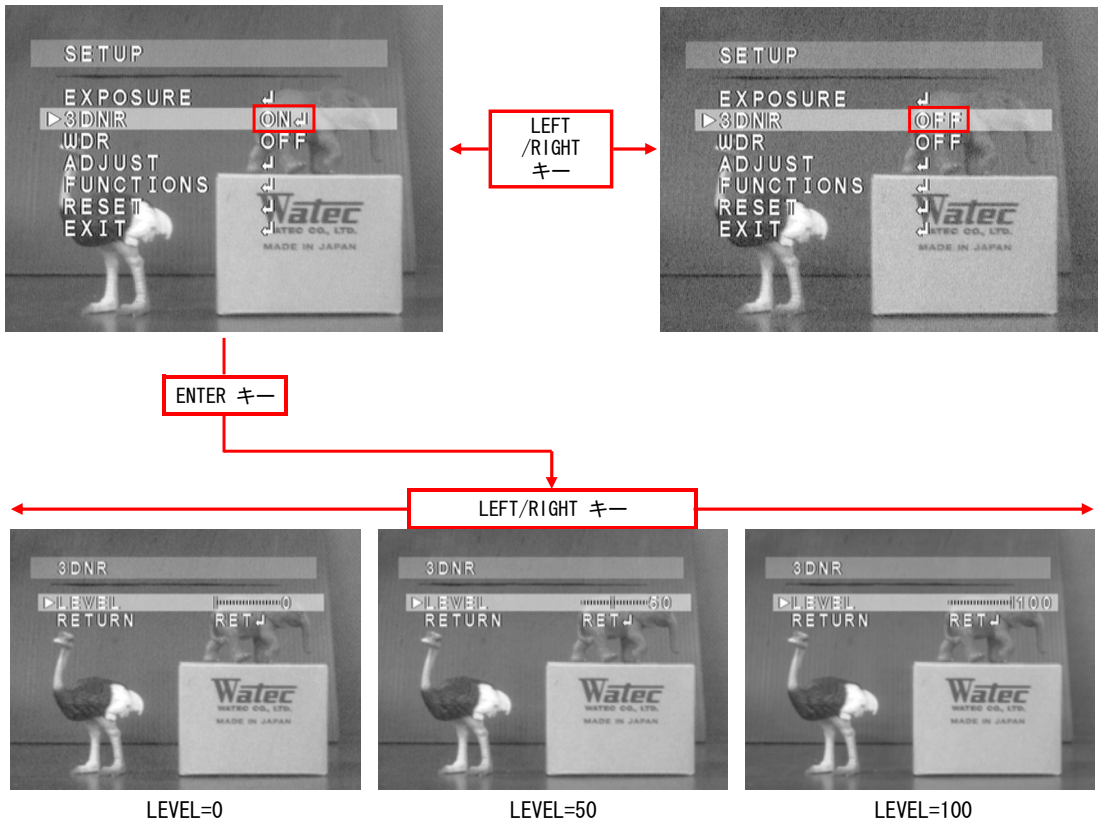
UP&RIGHT/DOWN&LEFT キーを使用して水平
方向のSIZEを設定します。ENTER キーを押す
と垂直方向のSIZE設定へと切り替わり、水平
方向の時と同様の方法でSIZEを設定できます。
SIZE選択後、ENTER キーを押すと設定終了
画面に切り替わります。

(3) 設定終了画面

UP&RIGHT/DOWN&LEFTキーを使用して、
RET(終了)/AGAIN(再設定)のいずれかを選択
します。

3.2 3次元ノイズリダクション(3DNR)

3次元ノイズリダクション(3DNR)機能の設定をします。
3DNR にカーソルをあわせ、LEFT/RIGHTキーを使用してON/OFFを選択します。ON選択時、ENTERキーを押すと、
詳細設定のためのサブメニューが表示されます。
デフォルトは ON です。ON 選択時の LEVEL のデフォルトは 50 です。



LEVEL=0		LEVEL=50	LEVEL=100
3DNR	(SUB MENU)	動作	
OFF	—	3次元ノイズリダクションOFF	
ON	LEVEL	ノイズリダクションの強弱を設定します。 レベルは、0(弱)～100(強)の範囲で設定できます。 LEFT/RIGHTキーを使用して、レベルの設定をします。	
	RETURN	LEFT/RIGHTキーを使用して、RET/END を選択します。RET を選択して ENTERキーを押すと、EXPOSURE メニューに戻ります。END を選択して ENTERキーを押すと、SETUP を終了します。	

※ 3DNR を強く設定した場合、ランダムノイズはより低減されますが、動解像度低下、固定パターンノイズ強調などの画質低下を起こしやすくなります。

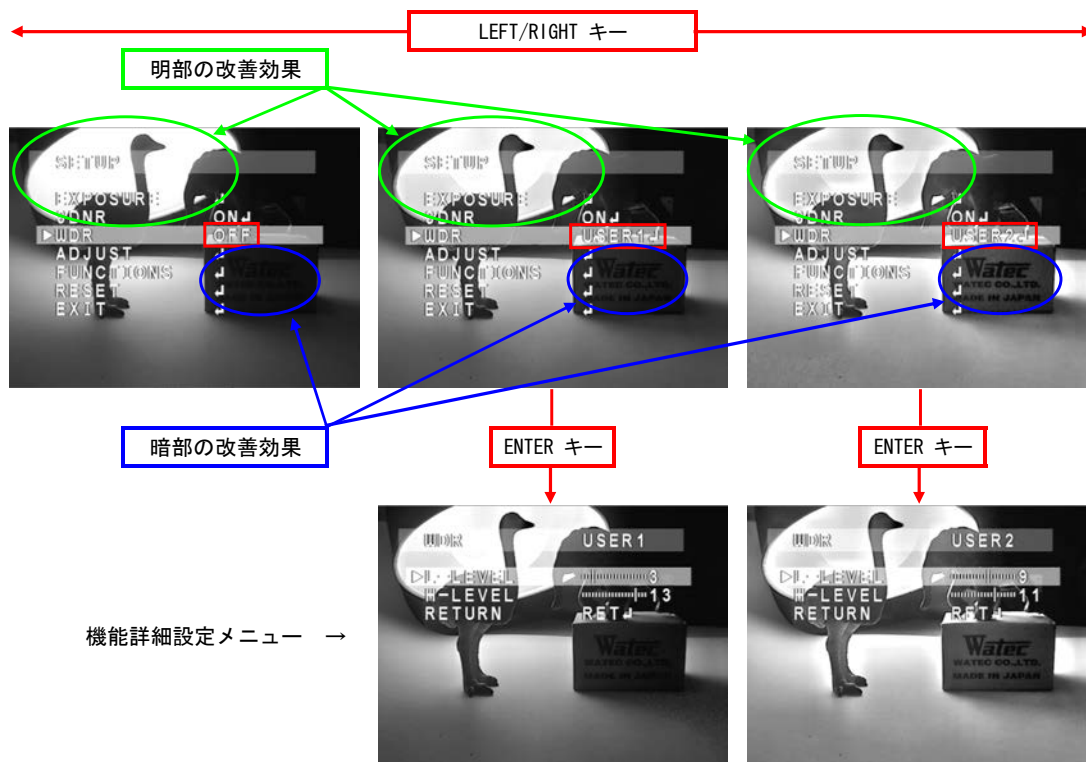
3.3 ワイドダイナミックレンジ(WDR)

暗部と明部のダイナミックレンジ(WDR)をデジタル処理にて拡大します。

WDR にカーソルをあわせ、LEFT/RIGHTキーを使用して OFF/USER1/USER2 を選択します。USER1/USER2選択時、ENTERキーを押すと、詳細設定のためのサブメニューが表示されます。

デフォルトは OFF です。USER1選択時の各設定のデフォルトは、L-LEVEL:3、H-LEVEL:13 です。

USER2選択時の各設定のデフォルトは、L-LEVEL:9、H-LEVEL:11 です。



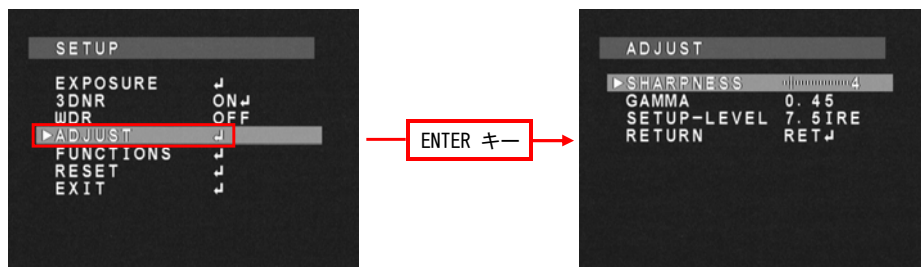
WDR	(SUB MENU)	動作
OFF	—	デジタルワイドダイナミックレンジ機能OFF
USER1 / USER2	L-LEVEL	LOW-LEVELの略。暗部の補正レベルを設定します。 L-LEVELは、0(弱)～15(強)の範囲で設定します。 LEFT/RIGHTキーを使用して、補正レベルを設定します。
	H-LEVEL	HIGH-LEVELの略。明部の補正レベルを設定します。 H-LEVELは、0(強)～15(弱)の範囲で設定します。 LEFT/RIGHTキーを使用して、補正レベルを設定します。
	RETURN	LEFT/RIGHTキーを使用して、RET/END を選択します。RET を選択して ENTERキーを押すと、EXPOSURE メニューに戻ります。END を選択して ENTERキーを押すと、SETUP を終了します。

※ USER1とUSER2でWDR機能の動作に違いはありません。

3.4 画質調整 (ADJUST)

画質の調整をします。

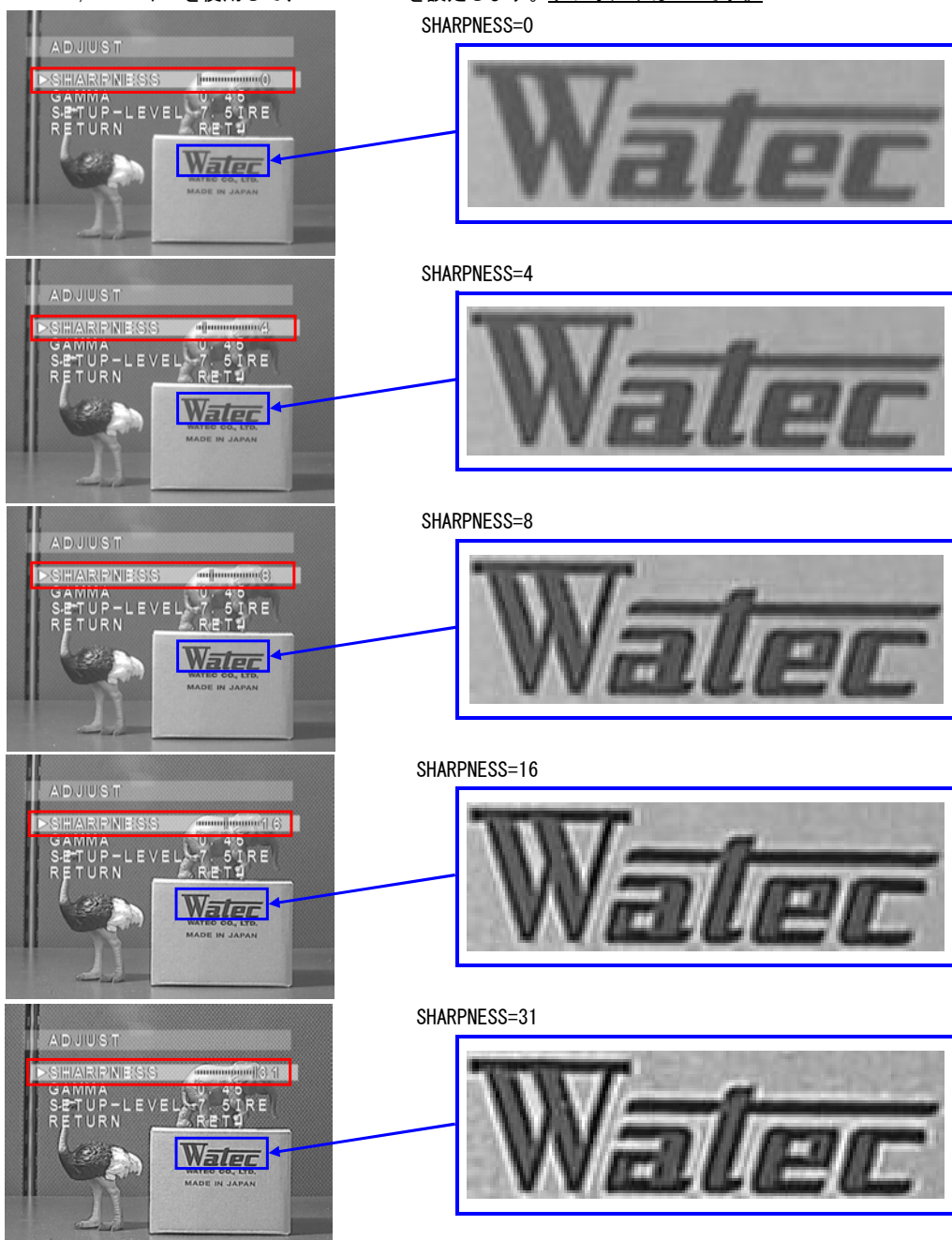
ADJUST にカーソルをあわせ、ENTER キーを押すと、ADJUST メニューが表示されます。UP/DOWN キーでカーソルを上下に移動し、調整したい項目で LEFT/RIGHT キーを使用して調整を行ってください。



3.4.1 輪郭補正 (SHARPNESS)

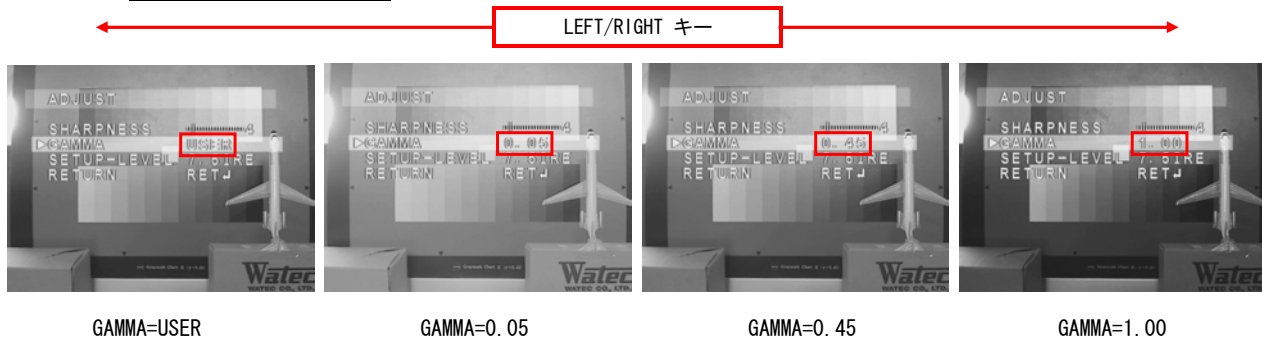
輪郭補正の度合い (SHARPNESS) を調整します。SHARPNESSは、0～31の範囲で選択します。

LEFT/RIGHTキーを使用して、SHARPNESS を設定します。デフォルトは 4 です。



3.4.2 γ (GAMMA)

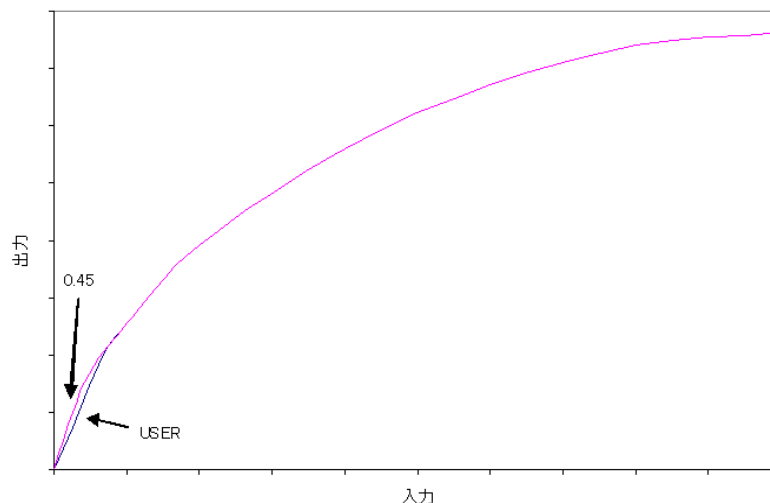
ガンマカーブ (GAMMA) を調整します。ガンマカーブは、USER (※3)、0.05~1.00 (0.05 steps) の範囲で選択します。LEFT/RIGHTキーを使用して、GAMMA を設定します。
デフォルトは 0.45 です。



表示するモニターの特性に合わせて、適正な値を選択してください。一般的に、ガンマ値が小さいほど暗部が明るくなりますが、白つぶれが起きやすく、またノイズが増える傾向ありますのでご注意ください。

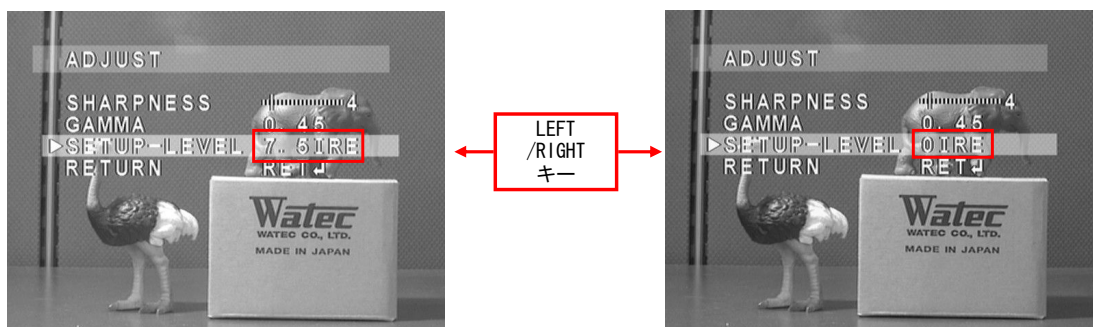
(※3) USERの特性

USERは、暗部でのS/Nを改善した0.45のガンマカーブです。
(ただし、暗部でのVIDEO出力は0.45の時よりも下がります。)
ガンマ特性のイメージ図は以下の通りです。



3.4.3 セットアップレベル (SETUP-LEVEL)

セットアップレベル (SETUP-LEVEL) を設定します。選択可能なセットアップレベルは、0IRE/7.5IRE の2種類です。LEFT/RIGHTキーを使用して、SETUP-LEVEL を設定します。
デフォルトは 7.5IRE です。

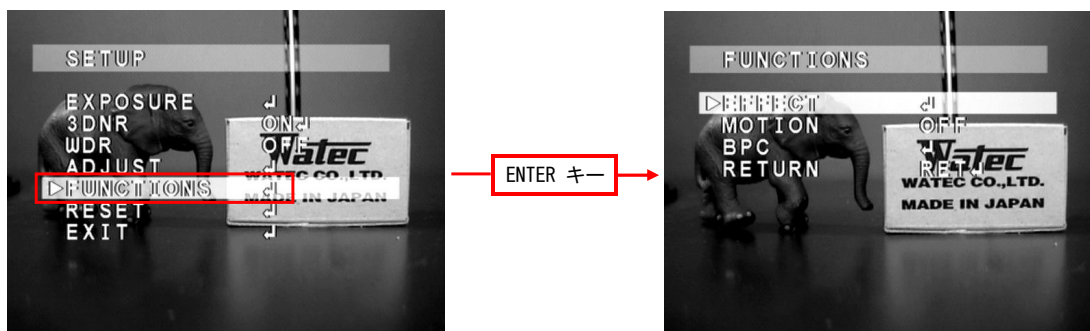


※SETUP-LEVEL は、EIA 用のみ設定可能です。CCIR 用では、SETUP-LEVEL の項目が表示されません。

3.5 デジタル画像処理 (FUNCTIONS)

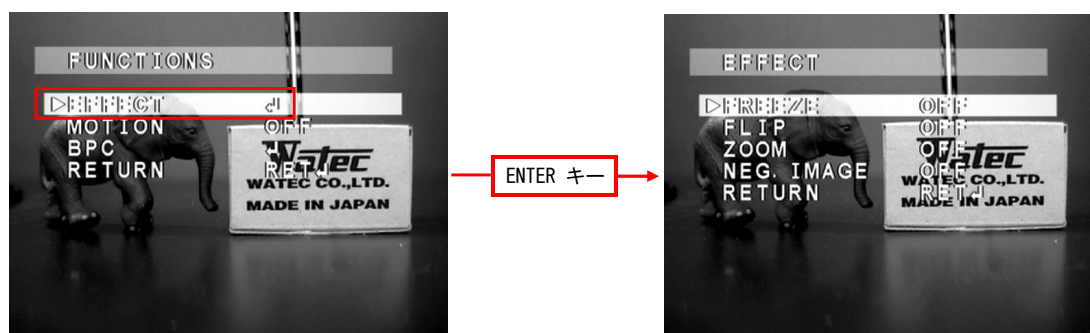
デジタル画像処理機能の設定をします。

FUNCTIONS にカーソルをあわせ、ENTER キーを押すと、FUNCTIONS メニューが表示されます。UP/DOWN キーでカーソルを上下に移動し、利用するデジタル処理でENTER キーを押すとデジタル処理のサブメニューが表示されます。MOTION 選択時には LEFT/RIGHT キーを使用して ON/OFF の切り替えができます。



3.5.1 デジタル効果 (EFFECT)

EFFECT にカーソルをあわせ、ENTER キーを押すと、デジタル効果メニューが表示されます。



3.5.1.1 静止画 (FREEZE)

ON選択時の撮像状態でビデオ信号出力は静止画状態となります。

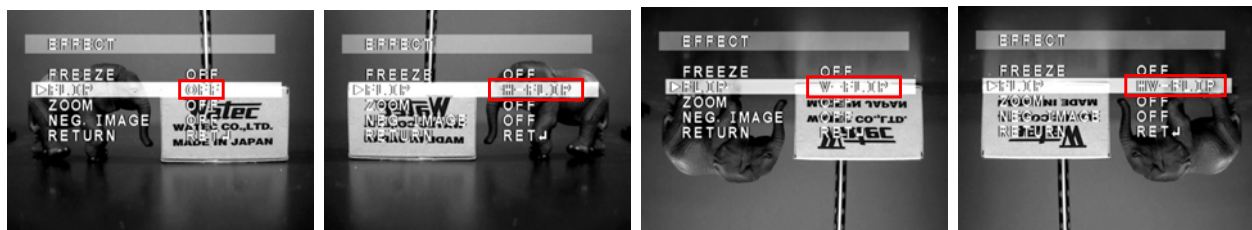
LEFT/RIGHTキーを使用して、静止画 (FREEZE) の ON/OFF を設定します。

デフォルトは OFF です。

3.5.1.2 反転 (FLIP)

反転処理を設定します。反転処理は、通常状態 (OFF)、左右反転 (H-FLIP)、上下反転 (V-FLIP)、左右上下反転 (HV-FLIP) から選択可能です。LEFT/RIGHTキーを使用して、反転処理を選択します。

デフォルトは OFF です。



(1) OFF

通常の撮像状態です。

(2) H-FLIP

左右反転映像です。
車載 (バックモニター)
等の応用に適します。

(3) V-FLIP

上下反転映像です。

(4) HV-FLIP

上下左右反転映像です。
カメラを180度回転
させた状態と同じです。
(結果的に映像に
反転はありません)

3.5.1.3 デジタルズーム (ZOOM)

デジタルズーム機能 (ZOOM) の設定をします。LEFT/RIGHTキーを使用して、ON/OFF を選択します。
ON選択時、ENTERキーを押すと詳細設定のためのサブメニューが表示されます。
デフォルトは OFF です。ON選択時の各設定のデフォルトは ZOOM:x1.0、PAN:0、TILT:0 です。



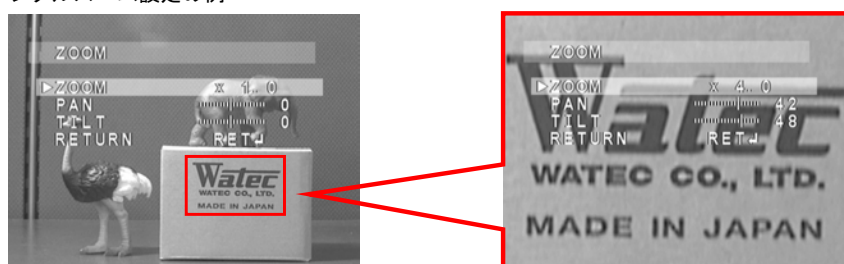
ZOOM	(SUB MENU)	動作
OFF	—	通常の映像出力です。
ON	ZOOM	デジタルズームの倍率を設定します。 倍率は、x1.0～x32.0の範囲で設定します。(※4) LEFT/RIGHTキーを使用して、倍率を設定します。
	PAN	水平方向の撮像位置を指定します。(倍率1.0指定時は無効) 撮像位置は、-100(左端)～0(中央)～100(右端)の範囲で設定します。 LEFT/RIGHTキーを使用して、撮像位置を設定します。
	TILT	垂直方向の撮像位置を指定します(倍率1.0指定時は無効) 撮像位置は、-100(上端)～0(中央)～100(下端)の範囲で設定します。 LEFT/RIGHTキーを使用して、撮像位置を設定します。
	RETURN	LEFT/RIGHTキーを使用して、RET/END を選択します。RET を選択して ENTERキーを押すと、EXPOSURE メニューに戻ります。END を選択して ENTERキーを押すと、SETUP を終了します。

(※4) 倍率のステップ

x1.0～x4.0……x0.1steps
x4.0～x8.0……x0.5steps

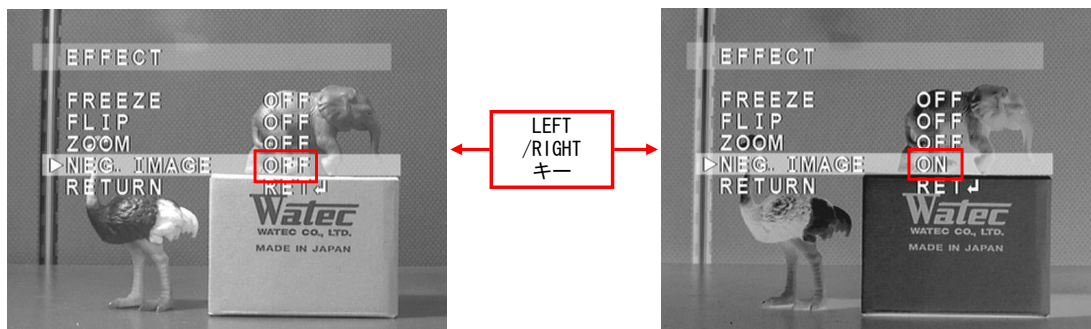
x8.0～x16.0……x1.0steps
x16.0～x32.0……x2.0steps

※デジタルズーム設定の例



3.5.1.4 ネガポジ反転 (NEG. IMAGE)

ネガポジ反転機能 (NEG. IMAGE) の設定をします。LEFT/RIGHTキーを使用して、ON/OFF を選択します。
デフォルトは OFF です。



3.5.2 動体検出 (MOTION)

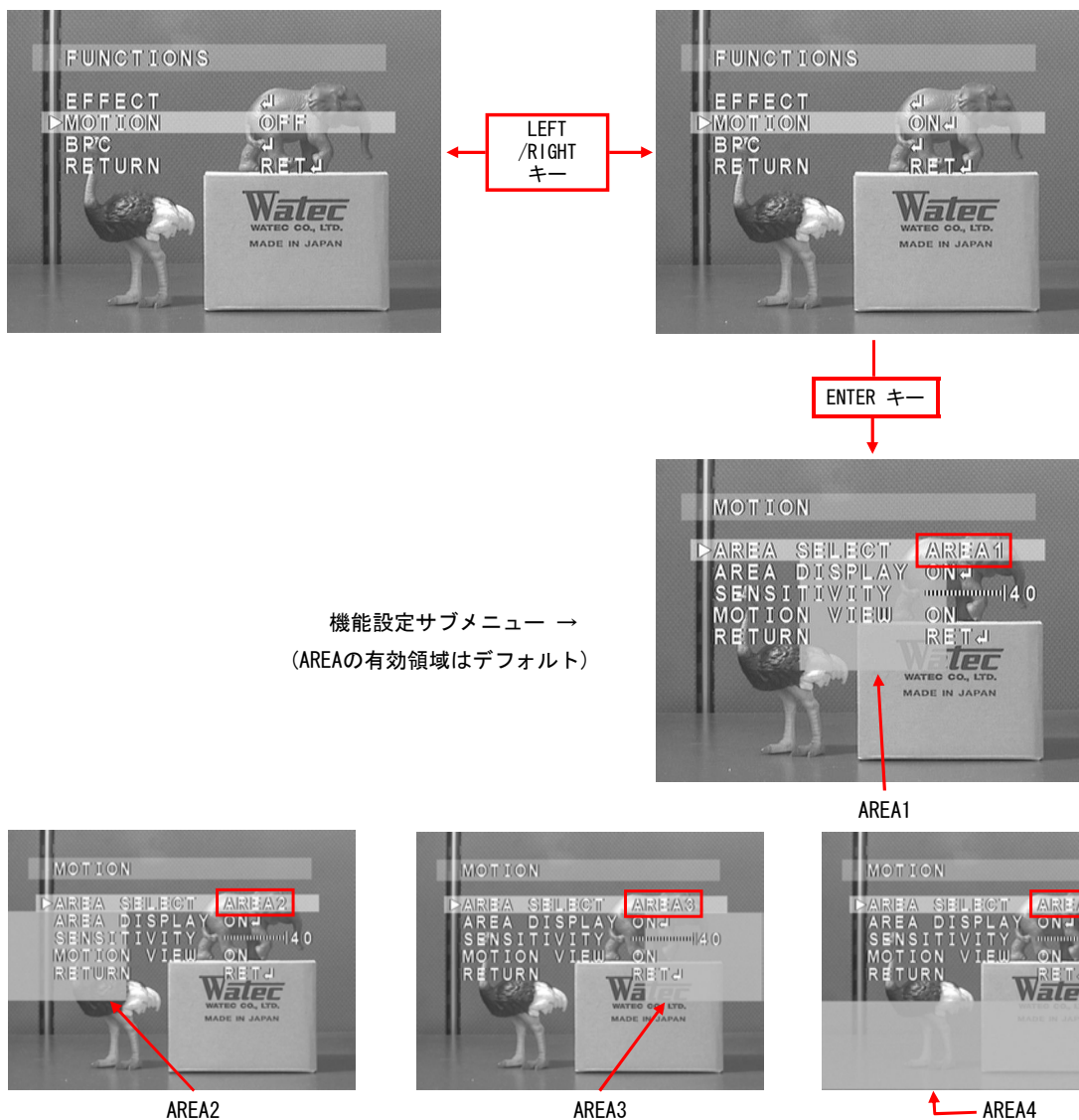
動体検出機能 (MOTION) を設定します。LEFT/RIGHTキーを使用して、ON/OFF を選択します。

ON選択時、ENTERキーを押すと、詳細設定のためのサブメニューが表示されます。

デフォルトは OFF です。ON選択時の各設定のデフォルトは AREA SELECT:AREA1、

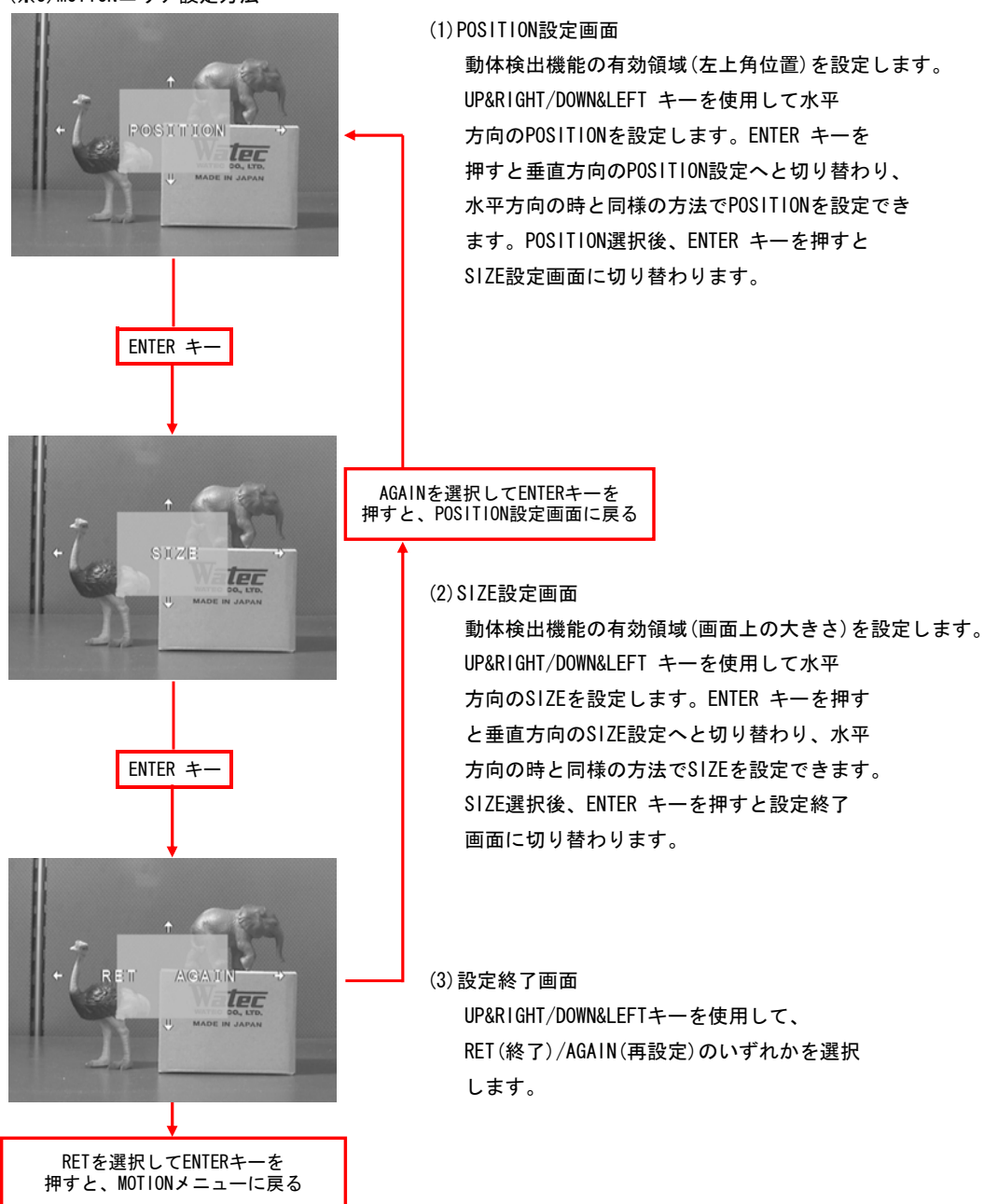
AREA DISPLAY:ON (AREA2~4はOFF)、SENSITIVITY:40、MOTION VIEW:ON です。

AREA DISPLAY ON選択時の AREA のデフォルトについては、下の図の通りです。



MOTION	(SUB MENU)	動作
OFF	—	通常の映像出力です。
ON	AREA SELECT	エリアの選択をします。エリアは AREA1～AREA4 の中から選択します。LEFT/RIGHTキーを使用して、エリアを選択します。
	AREA DISPLAY	エリア表示のON/OFFを選択します。LEFT/RIGHTキーを使用して、ON/OFFを選択します。ON選択時、ENTERキーを押すと、エリア設定画面を呼び出します(※5)。
	SENSITIVITY	感度を指定します。感度は、0～40 の範囲で選択します。LEFT/RIGHTキーを使用し、感度を設定します。
	MOTION VIEW	MOTION VIEWの設定をします。LEFT/RIGHTキーを使用して、ON/OFF を設定します。
	RETURN	LEFT/RIGHTキーを使用して、RET/END を選択します。RET を選択してENTERキーを押すと、EXPOSURE メニューに戻ります。END を選択してENTERキーを押すと、SETUP を終了します。

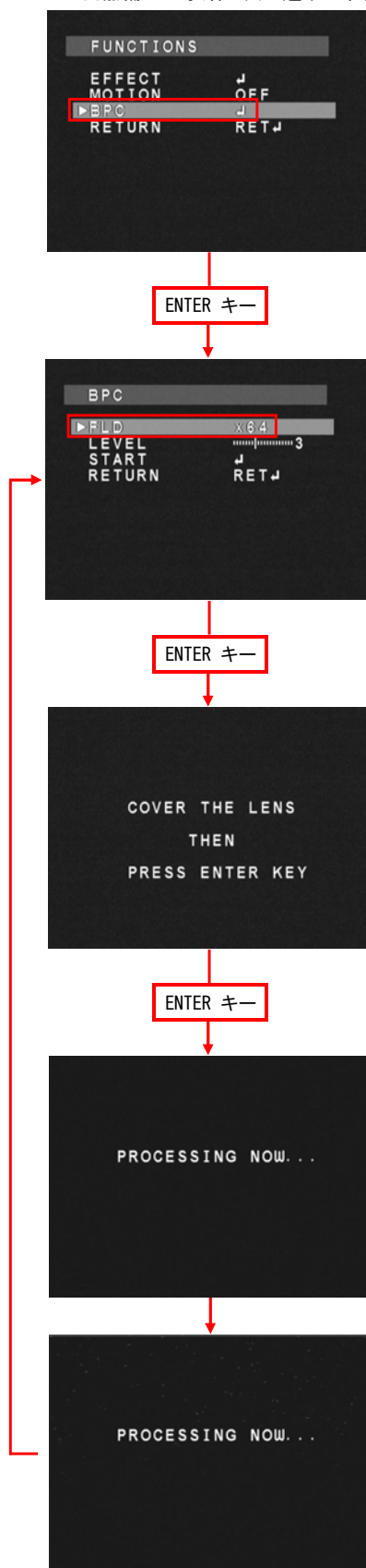
(※5) MOTIONエリア設定方法



3.5.3 白点補正 (BPC)

白点補正 (BPC: Blemish Pixel Compensation) の設定をします。BPC にカーソルをあわせ、ENTER キーを押すと、BPC メニューが表示されます。各設定のデフォルトは FLD:x64、LEVEL:3 です。

白点補正の手順は次の通りです。



(1) BPC にカーソルをあわせ、ENTER キーを押す。

(2) 白点検出をするための条件を設定します。

BPC	動作
FLD	<p>白点検出時の低速シャッタースピード(フィールド単位)を設定します。</p> <p>フィールド数が多いほど、微少な白点を検出できますが、白点補正の最大数(64点)を越えないよう注意する必要があります。</p> <p>低速シャッタースピードは、x4/x8/x16/x32/x64 の中から選択します。</p> <p>※推奨値：64フィールド</p> <p>LEFT/RIGHTキーを使用して、低速シャッタースピードを選択します。</p>
LEVEL	<p>白点検出は周辺画素に対する遮光時のレベル差で行います。レベルが小さいほど白点の検出数は多くなりますが、補正可能な最大数(64点)を越えないよう注意する必要があります。</p> <p>レベルは、1~6 の範囲で選択します。</p> <p>※推奨値：3(64フィールド指定時)</p> <p>LEFT/RIGHTキーを使用して、レベルを選択します。</p>
START	ENTERキーを押すと、白点検出・補正を行います。
RETURN	LEFT/RIGHTキーを使用して、RET/END を選択します。RETを選択してENTERキーを押すと、FUNCTIONS メニューに戻ります。END を選択してENTERキーを押すと、SETUP を終了します。

※白点検出・補正を行う前に、必ずレンズを遮光してください。

(3) 白点検出が始まり、検出結果が表示されます。

← 検出中

※白点検出はシャッタースピード (SHUTTER)、感度アップ (SENS UP)、フィールド数 (FLD) の設定が大きくなるにつれて、処理時間が長くなります。

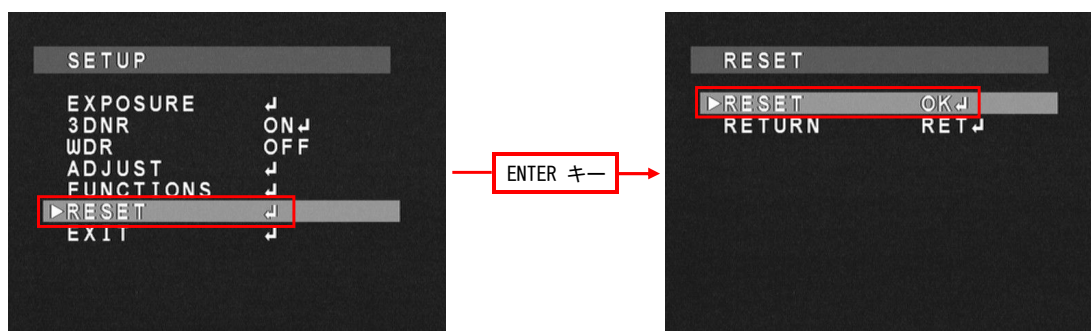
← 検出結果

※検出・補正終了後自動的にBPCメニューに戻ります。

3.6 工場出荷設定復元(RESET)

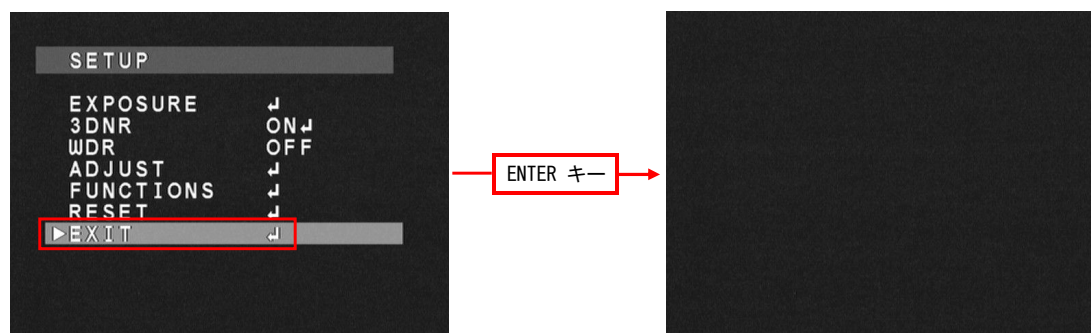
RESET にカーソルをあわせ、ENTER キーを押すと、RESET メニューが表示されます。

RESET メニューで RESET (OK)にカーソルをあわせ、ENTERを押すとカメラ設定は工場出荷状態に戻ります。



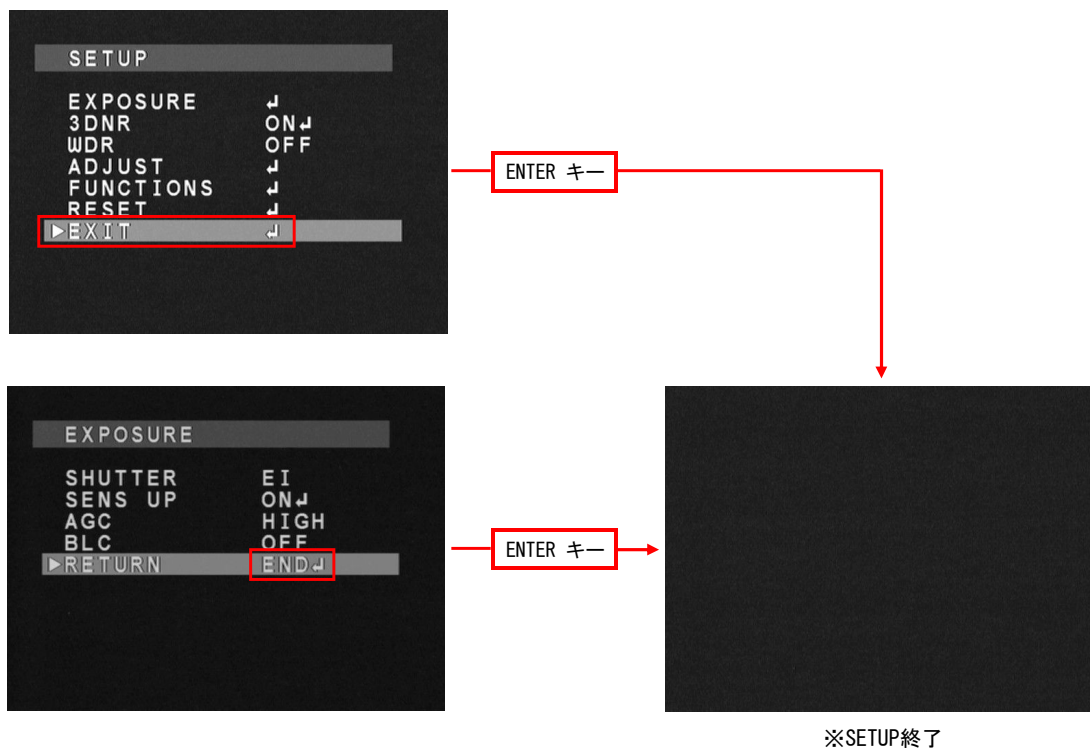
3.7 設定終了(EXIT)

EXIT にカーソルをあわせ、ENTER キーを押すと、SETUP を終了します。



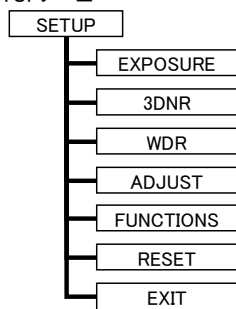
4. 設定の保存

各メニューの RETURN 項目で END を実行した時、またはSETUP メニューで EXIT を実行した時、設定が保存されます。
保存した設定は、カメラの電源を切っても保持されます。

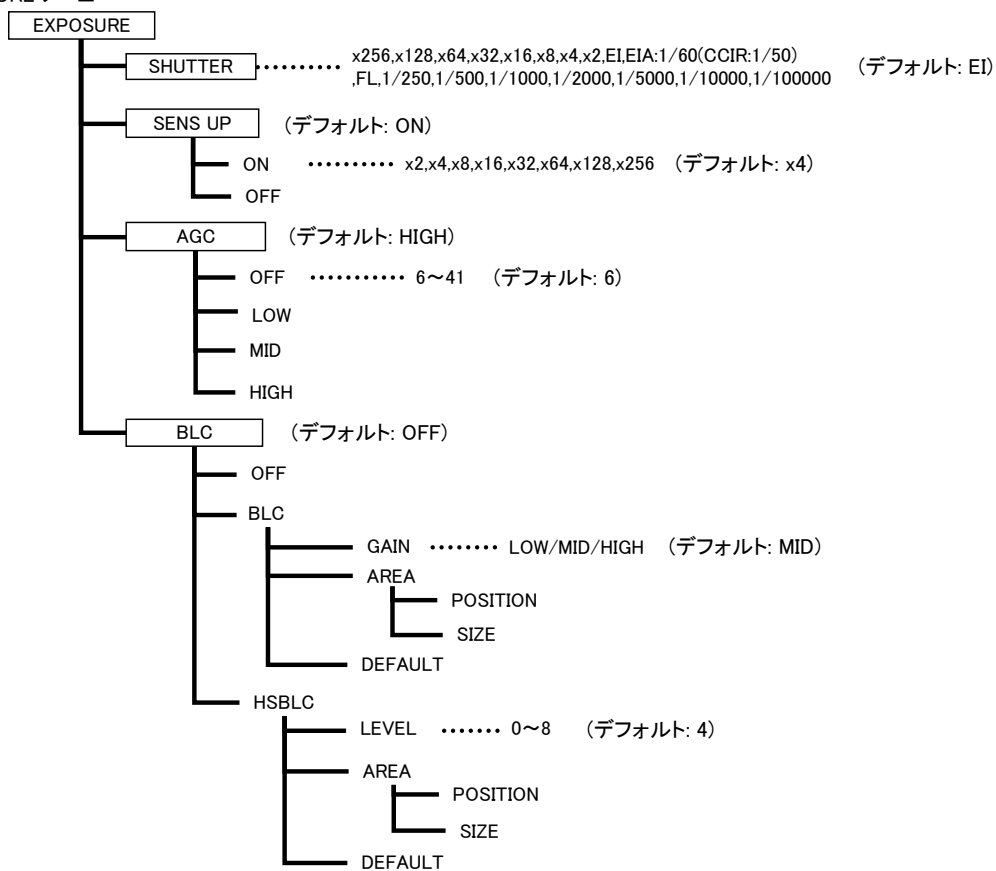


5. OSD メニューツリー

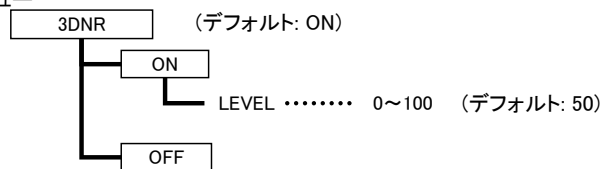
・SETUPメニュー



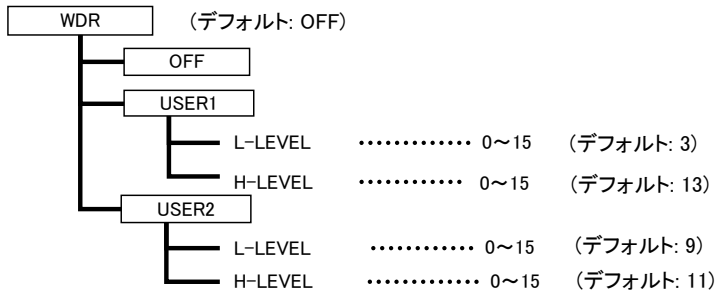
・EXPOSURE メニュー



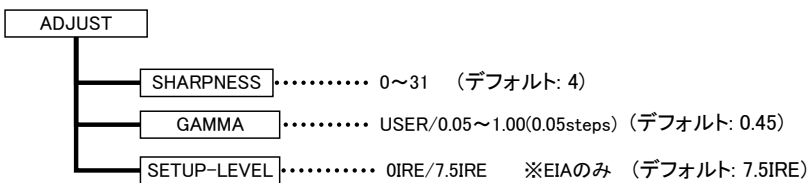
・3DNR メニュー



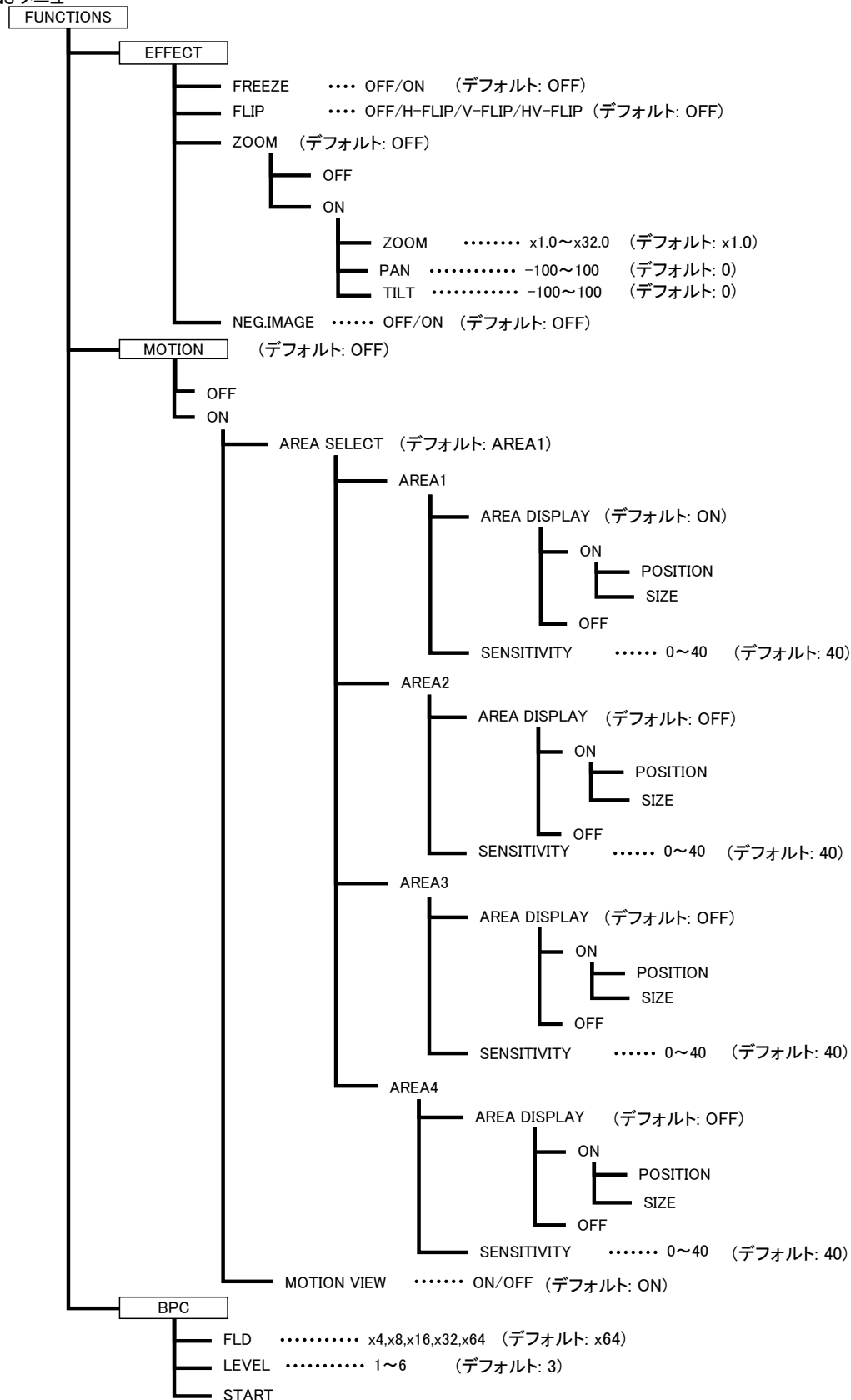
・WDR メニュー



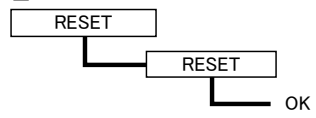
・ADJUST メニュー



・FUNCTIONS メニュー



・RESET メニュー



・EXIT

